

# 精明園だより

心でつながる場所



## 必笑！支援仕掛人

支援課長 山口 仁嗣



東京でのオリンピックイヤーである2020年がいよいよやってきました。世間が徐々に盛り上がるなか、今年度はあと僅かとなり、施設入所・生活介護・短期入所・日中一時の支援課事業を振り返り、ご利用者の高齢重度化が第一の課題と捉え、来年度に向けては生活介護事業の編成変更、集いカフェの実施継続、支援技術の向上のための事業等を計画しております。

当園には昨年4月に24年ぶりに赴任しました。事業団生活において最初に着任し、ご利用者と一緒に様々な体験をさせていただいた思い出深い事業所であり、外見は写真のように様変わりしてしまいましたが、中身はほぼ変わっていないような気がします。昨年赴任してすぐに当時、歩行訓練や遠足で行った丹波大山駅や川代体育館、文保寺等を訪れてみました。少し変わってしまったところもありますが、昔と変わらぬ懐かしい風景を見て、自分自身の職業人としての基本を学ばせていただいた場に戻り初志を振り返り、当時のスーパーバイザーのT氏をはじめ諸先輩方の教えが甦ってきました。今の自分に出来ることは、ご利用者やご家族が少しでも満足していただけるような支援サービスがチームとして提供できるように、そして意見が出しやすくチームの風通しが良くなるように様々な環境を整えることであると考え取り組んでいます。まだ不十分な点もあるため、来年度以降も更なる向上心を持って自己研鑽していきます。

私は対人支援において大切にしていることは「配慮」と「すぐ実践する」の2つです。障害者支援には様々な専門的スキルが必要ですが、この2つが備わっていれば信頼される良いサービス提供に繋がると信じています。ご利用者が笑顔溢れるようにご要望を引き出し、意思伝達が難しい方には汲み取り、配慮が行き届いた支援をすぐ実践できる「支援仕掛人」が増え、精明園がワンチームとなれるように努めていきます。

当園は令和の新たな時代に丹波市への本体施設の移転建替が決定し、大きな一歩を踏み出そうとしておりますので、今後ともご家族や関係機関、地域の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 新年を迎えて

家族会副会長 梶岡 保



子どもが丹南精明園でお世話になって、14年が過ぎようとしております。14年前の親としての想いの気持ちは今も変わらず、「ただ楽しく、笑顔で過ごしてくれれば…」ということのみを祈っております。

昨年は年号が平成から令和に変わり、丹南精明園も開設40周年の区切りの年でした。11月に実施しました記念行事である出張回転寿司は、利用者の皆様、家族会の皆様、職員の皆様にも大好評で、また記念品のマフラータオルもいい記念になったと思えました。

改めて新年を迎える度に、記憶力の低下、視力の衰え、関節の痛み等、老化を感じる年代となったことを痛感しております。その反面、園の職員の皆様方には、心から手厚い支援をしていただき感謝の気持ちで一杯であります。利用者の皆様も高齢重度化が進行しており、併せて家族会の皆様におかれましても同様に年を重ねて苦慮していることや心配事も多くあると思われまします。そのような状況のなか、「これからの家族や家族会のあり方、家族の役割は何であるのか」と自問自答している昨今です。職員の皆様や家族会の皆様との相互支援を語り合い、相互交流し、情報交換と手助けが得られる「場を作る」ことが重要であり、そのことが家族会のあり方であるのだと思います。また福祉制度や障がい者に関する法制度、利用できる社会資源、研修会、講演会、施設見学等に参加する事が大事ではなかろうかと自問自答しながら学習できればと思っております。

既に、新聞報道されておりますが、当園の移転建替の話が具体化しています。利用者の皆様が、明るく笑顔で過ごせる環境作りが追求出来る園や家族会でありたいと思っておりますので、今後ともご家族、職員の皆様、関係者の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



# 精明園の取り組み、活動の紹介

## 医務室

冬は特に感染症が流行する季節です。医務室では早い時期から手洗い・うがい・マスク着用など注意喚起を行っています。具体的には、手が洗いにくいご利用者様へは、支援員や看護師と一緒に手を洗ったり、手拭きウェットティを使用したり、爪が伸びていないか確認したり、いろいろな形で清潔を保てるように支援しています。

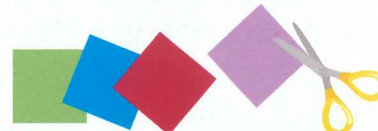
歳を重ね、高齢になられているご利用者の方は、より細やかな支援が必要です。支援員・管理栄養士・歯科衛生士・看護師の各専門職がみんなで協力し、安心・安全に生活を送っていただけるよう取り組んでいます。



## ペーパークラフト

平成30年10月から、月2回ボランティアの方に来て頂き、ペーパークラフトを実施しています。

色を塗り、のりを付けて貼り付け、季節に合った作品を仕上げていきます。最初はうまく出来ないうでしたが、回を重ねることに楽しくなっていくようで、「出来たよ！」と嬉しそうに作品を見せてくださいます。



## スポーツ指導

体育指導員の講師を園に招き、訪問スポーツ指導を実施しています。今年度は【陸上競技】【フライングディスク】【卓球】の3種目を、講師の方に教えて頂く機会を設けました。

たくさんの方が参加し、皆さん楽しみながら熱心に運動されていました。





## 各棟の活動の様子

### あゆみ男子棟

棟では、全体活動への参加や外出支援に特に力を入れ取り組んでいます。棟目標として「日常の中での楽しみを提供する工夫を行う」を掲げ、入浴時にバスクリンを使う・ケーキやシュークリーム・ラーメンを提供するなどご利用者の方が家庭でも食べていたり、作ったりされているものを中心に計画し実施しています。

今後ご利用者の要望に少しでも応え、家庭的な視点も大切にしながら、笑顔がより多くみられるように取り組んでいきます。



### あゆみ女子棟

あゆみ女子棟では、余暇支援として風船バレーやカラオケを開催しました。

歌を歌われたり身体を動かす事が好きな利用者様が多く、開催すると写真の様な満面の笑顔で楽しまれました。

今後も余暇支援を充実させ、楽しみのある施設生活がおくれるよう支援をしていきます。

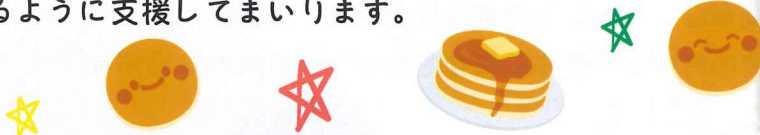




## いづみ男子棟

いづみ男子棟では12月にホットケーキパーティーを開催いたしました。ホットケーキの生地作りから焼く工程までを行っていただきました。シロップなどでトッピングを行い美味しそうに食べられていました。

今後とも催しを定期的に開催し楽しく日々を過ごせるように支援してまいります。



## いづみ女子棟

いづみ女子棟では、日中活動の一環として、居室や第2作業棟を利用して、手指を使った作業をされています。

キャップはめや輪ゴムの色分け、醤油さしちぎりなど、得意とされている作業は様々ですが、一つずつに丁寧に取り組んでおられます。

また作業以外では、多目的ホールでのDVD鑑賞や、あゆみ女子棟との合同カラオケなども実施することで、笑顔が見られ、日々の生活の中での楽しみを引き出していけるような支援を目指しています。





## 地域支援

11月4日、手をつなぐ育成会思い出の旅で淡路島方面へ出掛けました。平島農園でみかん狩りを行いました。

「間もなく昼食ですから、少し控えましょうか」という言葉もどこへやら、「これは、ちょっと酸っぱいな。これが甘いから食べてみい」と、皆さん、口いっぱい頬張って、もぎたてのみかんを味わいました。



その後、豪華な昼食もしっかり召し上がり、満腹になったあとは地元の障害者の方々と交流する機会もあって、有意義な日帰り旅行となりました。



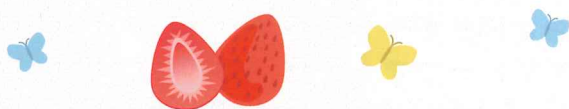
## まごころファーム

この冬は雪も降らず、例年に比べるとかなり暖かい日が続いていますが12名のご利用者は毎日元気に作業されています。

イチゴのビニールハウスでは、真っ赤に育ったイチゴの最盛期がクリスマスと重なり、みなさん楽しそうに収穫やパック詰めを行われていました。

また、新たな取り組みとして地元農家の方より黒豆の選別作業を受託しています。

今年も、全てのご利用者の方が元気で楽しく作業できますように…。



## 舞丹報告

12月3日に丹波篠山市で開催された、きらきら★カーニバルに舞丹が出演しました。

初めに自分たちの踊りを見ていただき、その後は会場におられる皆さんと一緒に楽しく踊ったりと、とても盛り上がる事が出来たのでとても良かったです。

短い時間での出演でしたが、楽しい時間を過ごせました。





## 40周年記念行事

今年度、当園は開設40周年を迎えました。記念行事として、ご利用者の皆様が喜ばれるようなものを企画したいと思い、出張回転寿司を開催しました。専門の業者により食堂内に回転寿司のレーンが準備され、皆さんどれにしようか迷いながら好きなものを選んでおられました。初めて回転寿司を体験された方も多かったのではないかと思います。ご家族の方々にも多数参加して頂きました。皆さん、おいしいお寿司とともに、楽しい時間を過ごされました。



## 忘年クリスマス会



忘年クリスマス会では、ご利用者による口笛の演奏やダンスが披露されたり、みんなで賛美歌を歌いました。毎年恒例の舞丹によるよさこい踊りでは、知らない人も一緒に踊り、会場が一体となって盛り上がりました。

最後にはクリスマスプレゼントを届けにサンタレンジャーとトナカイレンジャーが登場し、会場は大盛り上がりとなりました。



## とんど

令和2年1月16日に「とんど」を行いました。

事前にやぐらを組み立て、正月飾りや書き初めなど飾りつけを行いました。

当日は年男・年女（子年）の皆さんにトーチで点火していただきました。

皆で今年も無病息災でありますようにとお祈りしながら、燃え盛る炎を見守りました。

日本の昔ながらの風習を皆で感じる良い1日となりました。





西村管理栄養士

1月15日の昼食時にとんどぜんざいを提供しました。

(天候の都合で実際のとんどは翌日の16日に実施しました。)

とんどは丹波篠山地域においても小正月になると学校や神社など各地で行われています。地域行事のとんどでは終わったあとに団子やぜんざいが振舞われることがありますが、精明園でも白玉団子と小豆がたっぷり入ったぜんざいを振舞いました。無病息災やそれぞれの願い事を祈りながら、皆さん美味しくいただかれました。



当施設  
苦情相談窓口

苦情受付責任者 藤本直人  
本荘保義  
山口仁嗣

苦情解決責任者 柴垣重美

受付時間 9:00~17:00  
(土・日・祭日・年末年始を除く)

電話番号 079-594-2298  
FAX 079-594-2271

担当者が不在の場合は、事務所までお申し出下さい。  
苦情受付箱を設置していますので、ご利用下さい。

浜坂温泉保養荘

1泊2食19,450円より



※上記料金は60歳以上2名利用の場合 ※写真はカニおすすめコース  
〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775  
ご予約・お問い合わせは... (0796) 82-3645